

位置

とは別に擧たりいかに、又師(賀茂真淵)云、佐は發語、泥は奴に通ひ、奴と牟とは又通へば、牟佐斯なり、古武藏と相模と、一國に分れぬ時に、はは、か、泥、よむべしと云れたるも、牟佐斯を泥佐斯とはいか、か、云、又、或人相模國は、小き峯の多き國なるに、因て、小峯刺の意なり、刺は立なりと云るも、いか、又、己も前に思へるは、佐は例の眞の意、泥は峯にて、富士山を眞峯とほめ、云、佐斯は立ならむ、駿河も舊相模なれば、富士山を以て、枕詞とせざるなるべしと思ひしも、わろし、

〔地勢提要〕各國經緯度 附里程

相模小田原本町極高三十五度一十五分、經度東三度二十四分、從東都東海道二十二里一十五町一十四間半、

〔日本經緯度實測〕北極出地

相模 大磯 三五度一八分〇〇秒 小田原 三五度一五分〇〇秒

箱根 三五度一三分三〇秒略

東西里差

山城 京 〇度〇〇分〇〇秒略 相模 小田原 東三度二三分五三秒

疆域

〔新編相模國風土記稿一〕圖說

本州ノ地ハ、山野及ビ海ニ屬ス、水土考ニ、北極出地三十五度ト見ユ、東北ハ武州ニ接シ、西北ノ際、三國嶽ニ躡キ、甲州ニ隣リ、南方ハ海ニ面シ、西南ハ足柄箱根ヲ攀テ、駿豆二州ニ界ス、南北凡九里餘、東西凡十六里餘、西北ノ方疊障復嶺ニシテ、人跡ノ通ゼザル所、凡方七八里、

〔日本地誌提要十七〕疆域 東ハ武藏、西ハ甲斐、駿河、南ハ伊豆、及海、北ハ武藏ニ至ル、東西凡壹拾

四里、南北凡壹拾壹里、

島嶼

〔日本實測錄九〕相模國三浦郡 遠測 中島 城ヶ島 天神島

鎌倉郡 實測 江島 周廻一十七町五十三間

足柄下郡 遠測 大根 山西村 浮根 コウシロ根 大根 根府川村 辨天島 岩村 鈴島 眞鶴